

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	春野スポーツ施設管理		部課コード	2007	予算事業科目	011008020720	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	教育委員会	部局長名(2次評価者)	松原 和廣		個別事務	一部	011008020720	-	
	担当部署	スポーツ振興課	所属長名(1次評価者)	徳広 祐一			-			
	電話番号	088-833-4351	E-mail	kc-200700@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	02 いきいき輝き安心して暮らせる都市	政策基本方針	すべての市民が健康で文化的な生活をおくれるように生きがいを育む生涯学習・スポーツへの参加を促進するとともに、生涯にわたる一貫した心身の健康づくりに取り組みます。
款	10 教育費	政策	02 生きがい輝く生涯学習・スポーツの環境づくり		
項	08 社会体育費	施策	02 生涯スポーツ活動の推進		
目	02 体育施設費	区分	03 スポーツ施設の整備・活用の推進		

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市春野スポーツ施設条例・同施行規則	
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	すべての高知市民		
意図	どのような状態にしていけるのか	平成20年の春野町合併により、高知市が所管するようになった施設(弘岡中プール・ゲートボール場・春野グラウンド)であるが、旧春野町民だけでなく広く高知市民全体で活用できるようにしていく。		
手段	事業実施体制等	高知市が施設の管理運営をするが、一部機械管理的なところは業務委託	事業開始年度	平成20年
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	○弘岡中プール・春野グラウンド・春野ゲートボール場の管理運営		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	プール利用人数(人)	春野町在住市民の利用が中心であり、現在、使用料は減免中。指標としては、利用者人数を設定	
	B	グラウンド利用人数(人)	"	
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	プール利用人数(人)			1,700		弘岡中プール 22年度 2,097人 営業期間 7月1日から9月10日まで 目標数値は対前年5%増	
		実績		1,635	1,880			
	B	グラウンド利用人数(人)			5,300			
		実績		5,070	4,680			
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)		3,071	2,131			
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	0	3,071	2,131		0
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	2,250	2,250	0		
		正規職員(千円)		0	2,250	2,250		0
			その他(千円)					
			人役数(人)		0.30	0.30		
		正規職員(人)		0.30	0.30			
		その他(人)						
	総コスト=①+②(千円)		0	5,321	4,381	0		
市民1人当たりコスト(円)		0	16	13				
年度末住民基本台帳人数(人)		341,544	340,695	339,714				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

土佐山・鏡合併時と同様に、使用料は旧春野町住民は免除扱いとしている。仮に使用料徴収としても、徴収にかかる経費が増大し、費用的には問題がある。使用者は主に小学生であり、地域での健康増進には、貢献しているのも事実である。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 22 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	B	3.0	旧春野町民の利用は、ある程度あるため、合併による不利益を多く被っている側からすれば、一概に費用対効果でくるのも配慮する必要がある。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	3.0	利用者需要はあり、スポーツ活動の場や健康増進の場としての意味はある。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B			
	B (3) 概ね妥当である				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B	3.0	利用者需要はあるが、経費増大をさけるため、プール営業については、営業日数の調整により、費用削減を図っている。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B			
	B (3) 概ね効率的にできている				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B	2.0	設置場所の問題もあり、高知市全域からの利用は見込めない
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	C			
	B (3) 概ね適正な負担割合である				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 検討すべきである				
総合点	11.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 22 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	1次評価のとおり。今後、大規模修繕が発生すれば、廃止も検討。
B 経費削減に努め事業継続	
<input checked="" type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項